

陰囊水腫根治術

男児の精巣は、胎児期(お母さんのお腹の中にいるとき)に、腹腔内(男児のお腹の中)から鼠径管という足の付け根のところを通り、陰囊内に下降してきます。通常その通り道はその後閉鎖してしましますが、男児の陰囊水腫はその通り道がつながったままの時に、陰囊に水(腹水)がたまり発見されます。

大人の陰囊水腫は、通常その管がすでに閉じていますが、睾丸を包んでいる精巣しょう膜という皮の異常により、陰囊内に水がたまり、陰囊がはれたことで気づき来院されます。

成人の陰囊水腫では、針で刺して抜くような処置をすることもあります。治すにはそのしょう膜の一部を切除します。

